

ゆいまーる パン工房からこんにちは

メンバーの変化は自分の変化？！

ゆいまーるで人気のクロワッサンの計量、仕込みを担当しているメンバーがいます。

このメンバーは、仕事はすごくできるのですが、作業中にほかのことに気を取られることが多くて、職員が良く見ていないと計量を間違えたり、何かを入れ忘れたりすることがあります。



先日も、ふとみるとバターを入れ忘れていましたが、それを声掛けした時の反応がとても印象的でした。大あわてで今まで見たことのない素早い動きでバターをつかみ取るとミキシング中の、ミキサーボウルの中にバターを投げ入れました。

入れ忘れたバターを早く入れないといいパン生地ができないというメンバーさんの気持ち（?!）をそのとき私は感じました。思わず「今のはいい動きだった!!」と声がでてしまいましたが、以前の彼にはなかった反応だったと思います。

最近、ふと思い返すとそういったメンバーの変化を感じる事がよくあります。

ゆいまーるではパンを納品しに配達に出かけますが、以前は「配達」という仕事はでかけるのが好きなメンバーがおともでついていく、みたいな印象がありました。これを仕事と呼べるのか?!と私自身思うことがありました。

今はそんなことは思いません。いつごろからそうなのか、わからないけれど、自然に荷物を持ってくれたり、ドアを開けてくれたり、パンを並べてくれたり……。挨拶はそんなに上手にはできないけれど、「配達にきました!!」というオーラが出ています。私自身配達にいくのが楽しみになりました。納品先でもみんなと一緒にいくことで相手の方に喜ばれると私も嬉しくなります。

ラスクを作っているときにも印象的なことがありました。パンにシュガーバターを塗っていた時に12時をまわったので「お昼ご飯にしてください」と一緒に作業していたメンバーに声をかけました。けれど彼はお昼ご飯にいくことなく、最後までバターを塗り終わるとすぐにご飯にいきました。

当たり前のことかも知れませんが、キリのいいところまで仕事をするとか、終わったらすぐにご飯にいくとか、メリハリの効いた感じは、以前はあまりなかったように思います。

と、ここまでは「メンバーの変化」と書いてきましたが、それはひょっとしたら自分自身の変化によるものかもしれません。メンバーのマイナス面しか見ることができなかった自分が、自然とメンバーのプラス面に目が行くようになってきたのかもしれない。

ゆいまーるがリニューアルして1年が経ちました。

メンバーも私も自然に少しずついい方向に変わってきていけたらと思います。

ゆいまーるスタッフ・光永幹雄